

令和7年度川崎市立多摩病院モニター懇談会（摘録）

- 1 日時令和8年3月16日（月）午後1時30分～午後2時20分
- 2 場所川崎市立多摩病院2階会議室
- 3 出席者
【委員（モニター）】岸委員、臼田委員、井田委員
【指 定 管 理 者】長島病院長、堤副院長、相澤部長、島田主幹
【病 院 局】荒川担当課長、田中課長補佐
- 4 議 題 多摩病院の取組（患者サービス等）について
- 5 傍聴者 なし
- 6 発言要旨 次のとおり

（荒川担当課長）

皆さんお揃いですので、会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中、令和7年度川崎市立多摩病院モニター懇談会にご出席くださりましてありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます、川崎市病院局経営企画室多摩病院運営管理担当課長の荒川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。ここからは着座にて進めさせていただきます。

はじめに、本日の会議につきまして、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条の規定に基づき、公開とさせていただきますとともに、いただいたご意見は録音させていただきます、後日、摘録としてホームページにて公開いたしますので、ご了承いただきますようお願いいたします。なお、現時点では傍聴希望者はありません。

この多摩病院モニター懇談会ですが、多摩病院の運営や患者サービスの向上について、委員の皆様からご意見をいただき、患者サービスの向上等につなげていくため、開催させていただく会でございます。今後の多摩病院のサービス向上に向けて、何かお気づきの点など思ったことをお気軽にお話しいただければと思います。

それでは、はじめに委員の方をご紹介します。委員の皆様におかれましては、各団体に推薦のお願いをさせていただき、お引き受けしていただいた方となっております。なお、前回、公募においても委員を募集いたしました。一般の方の応募はございませんでしたことから、委員の方は3名となっております。また任期でございますが、今月末、令和8年3月31日までとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、委員の方をご紹介します。まず、川崎市看護協会よりご推薦いただきました臼田委員でございます。

（臼田委員）

臼田です。よろしくお願いいたします。

（荒川担当課長）

続きまして、川崎市多摩区医師会よりご推薦いただきました岸委員でございます。

(岸委員)

よろしく申し上げます。

(荒川担当課長)

続きまして、川崎市全町内会連合会よりご推薦いただきました井田委員でございます。

(井田委員)

よろしく申し上げます。多摩区町会連合会で理事をやっておりまして、もう一つは長尾の町会長をしております。よろしく申し上げます。

(荒川担当課長)

続きまして、多摩病院側につきましては自己紹介でお願いをいたします。

(堤副院長)

看護部長の堤と申します。よろしくお願いいいたします。

(長島病院長)

病院長の長島です。よろしくお願いいいたします。

(相澤部長)

事務部部長の相澤と申します。よろしくお願いいいたします。

(島田主幹)

総務課主幹の島田と申します。よろしくお願いいいたします。

(荒川担当課長)

病院局の職員ですが、私、担当課長の荒川と申します。よろしくお願いいいたします。

(田中課長補佐)

病院局経営企画室の田中と申します。よろしくお願いいいたします。

(荒川担当課長)

ありがとうございました。

それでは、次第、2番目の資料説明・意見聴取でございますが、まず(1)の「患者満足度調査」についてご説明のほうをお願いいたします。

(島田主幹)

毎年2回行っていましたが、調査会社を日本医療機能評価機構に変更し、今年度は1回実施しました。期間は、10月27日から31日の5日間になります。

多摩病院は、ベンチマークの中規模病院になり、200床から499床の病院群になります。調査対象の病院群は、入院患者調査100病院、外来調査97病院、職員調査が108病院となっております。多摩病院の順位は、入院患者調査で42位、外来患者調査で76位という結果になっております。

入院患者さんには、290枚配布し、回答は176枚となっております。外来患者さんにつきましては、455枚配布し、455枚の回答になっております。

入院患者満足度調査の主な項目は、総合評価と医師による診療内容、医師との対話、看護師の対応、薬剤師の対応、事務職員の対応、リハビリ職員の対応、栄養士・調理師の対応、食事の内容、痛みや症状を和らげる対応、精神的なケア、プライバシー保護の対応、入退院支援の対応、病室・浴室・トイレなどの環境面、施設全体、あと多摩病院の総合満足度について調査しました。

ベンチマークの比較では、全体的に80%台が多く、食事の内容とプライバシーが低いという結果でした。総合評価は、平均値84.6%に対し、当院は87.5%と高評価でした。医師の診療・治療内容は86.9%、医師との対話については85.1%、看護師は92.9%と高評価でした。事務職員その他スタッフについても、80%を維持できている状況です。痛みを和らげる対応は86.2%、精神的なケアについては81.9%と、やはりケアの面でも高い評価となっております。プライバシーについて、大部屋の患者さんも多かったというところもあり、少々低い状況となっております。病室、浴室、トイレなどについては80%台となっております。

満足度は5段階の評価としています。5はとても満足、4はやや満足、3は普通、2はやや不満、1はとても不満となっております。回答者の年齢構成は、30歳未満が11%、30歳から49歳が7%、50歳から69歳が26%、70歳以上が55%と、半分以上を占めている状況です。病院の総合的な満足度は、とても満足しているが50%、やや満足が36%、満足されている方が80%以上ということで当院の満足度が高い状況となっております。総合評価、多摩病院を親しい人に勧めますかという項目は、勧めるが57%、まあ勧めるが31%、こちらについても80%以上で高い評価となっております。職員に対する満足度は、ほぼ80%以上と高く評価されており、特に看護師は93%と高い評価となっております。サービスに対する満足度は、病室・浴室などで60%、入退院支援で58%、施設全体64%と若干低めで推移しており、それ以外は、70%から80%となっております。

外来患者満足度調査についての項目は、総合評価、診察までの待ち時間、診察時間、医師による診療・治療内容、医師との対話、看護師の対応、臨床検査技師の対応、放射線技師の対応、事務職員の対応、痛みや症状を和らげる対応、精神的なケア、プライバシー保護、案内・掲示、あと交通アクセス、施設全体が評価項目となっております。平均値より高い状況ですが、診察までの待ち時間は45.5%、プライバシーは60.2%、診察時間は60.7%、痛みや症状を和らげる対応、精神的な対応・ケア等は60%と低い状況となっております。医師との対話は80%、看護師の対応は80%と高い評価となっております。

回答者の年齢構成は、30歳未満が6%、30歳から49歳が13%、50歳から69歳が36%、70歳以上が45%、70%以上の方が半数を占める状況となっております。病院の総合的な満足度は、とても満足している方が39%、やや満足が34%、やや不満が24%、とても不満の方が3%程度となっております。総合評価の多摩病院に親しい人に勧めますかについて、勧めるが31%、まあまあ勧めるが28%と、半数を超える結果となりました。職員に対する満足度

は、医師との対話、看護師の対応について、高い評価となっています。その中で、事務と放射線技師、検査技師、あまり放射線技師とか検査技師に携わらないこともあるかもしれないですが、やはりその3箇所が低い状況となっております。サービス提供に対する満足度ですが、待ち時間と交通では、待ち時間が低い状況となっております。交通アクセスが低いところに関しましては、駅から近いことと、駐車場もありますが、再度確認したいと思っております。それ以外には、診療時間で60%、プライバシーの保護、あと痛みや症状や緩和、精神的なケアについて60%を維持している状況となっております。説明については以上となります。

(荒川担当課長)

ありがとうございます。補足することはありますか。

(長島病院長)

当院は3月末で離職する職員が多く、医師も半分以上が入れ替わるため、4月に入ってから改善活動となると、自分達への評価ではないため改善活動ができない。このため、本来は年2回実施し、PCDA サイクルを回すよう指示していた。来年度以降は年2回の実施になると理解しています。

データの詳細を見ると、外来ではすべての項目でベンチマークを上回っているものの、97病院内中76位となっている。普通に考えればベンチマークを上回っているのも上位1/2以内になるはずであり、算出方法も含めて追って事務から参加者に提示します。また、図には「職員調査」の文言もあるが、これは適切な記載ではないため、おって事務には差し替えを指示します。

(島田主幹)

分かりました。

(荒川担当課長)

他に何か補足等ございますか。よろしいでしょうか。

先ほどご説明がありましたとおり、令和7年度から調査の委託先を日本医療機能評価機構に変更しているため、昨年度の調査結果を、参考という形で付けさせていただいております。

それでは、委員の皆様から、ご意見や何かご自身の経験等から照らし合わせていただいて、ご感想でも構いませんので、ご意見いただければと思います。よろしく願いいたします。

(岸委員)

食事の項目が低いですが、今後何か改善とかは、考えておられるのでしょうか。

(長島病院長)

厚生労働省の基準で塩分制限、カロリー制限などが義務付けられており、入院食は一般食に比較して評価が低くなるのは避けられない。味覚以外に、「今日はこのこういうお米を使っています」「こんな感じの食材でメニューを作りました」などの味覚以外の感覚に訴えたり、食器を工夫したりして対応している。食材費も高騰しており、入院食に対する評価を改善するのは限界があるのも事実である。

(岸委員)

糖尿の人は、入院している時はコントロールして良い状態ですが、退院後1か月して外来に来ると、もうダメになっていますね。

(長島病院長)

病院で厳格に管理している食事を出しても、コンビニでふりかけを買ってかけたりしているので、この辺をどこまで制限するか、しないかは課題と捉えている。

(岸委員)

退院しても守れない食事を出しても結局続かないから、それは少し考えてもいいのかもしれないですね。

(長島病院長)

はい。

(井田委員)

さきほど院長からお話があった76位っていうのは全体が108とあっていいですか。ここがはっきりとわからないのですが、108分の76位って喜ばしい数字じゃないですよ。

(島田主幹)

外来が97病院中です。

(井田委員)

97分の76ですか。

(島田主幹)

はい。

(井田委員)

76位っていうのは、母数はいくつですか。97ですか。

(島田主幹)

97です。

(井田委員)

多摩病院97と書いてあります。両方多摩病院ですか。

(島田主幹)

上が全体です。

(井田委員)

全体というのは。

(島田主幹)

同じぐらいの規模の病院です。

(井田委員)

そういうことですか。川崎市全体ですか。

(島田主幹)

いえ、全国です

(井田委員)

全国。

(荒川担当課長)

調査委託した日本医療機能評価機構で、全国の中規模病院で、外来患者さんの調査依頼を受け実施したのが97あって、そのうち多摩病院さんが76位だったという、そのような見方になります。

(井田委員)

あんまりよろしくないと思っていいのですか、これは。

(島田主幹)

そうですが、先ほど病院長からもお話いただいた、ベンチマーク比較の8ページを見ていただくと、全体的に低くて、それ以上に多摩病院が全体評価としては高い状況なので、ここの順位を再度確認させていただく予定でおります。

(井田委員)

わかりました。最初に言い忘れたのですが、私も災害の時の避難所開設区委員や避難所開設委員として動いているのですが、その時に介護士、看護師の方にいつも2名出していただきまして、ありがとうございます。ここで感謝申し上げます。

続いて今の話の続きになるのですが、食事の内容が50%台、せいぜい60%、そしてもう一つは、待ち時間が長いというのは低いですよね。待ち時間が長いというのと、食事もそうなのですが、どこの病院でも食事の美味しいところなんかないんですよね。ですから、平均値に近づければしょうがないと思うしかないと思うのですけどね。

あと全体の話として7割8割OKのものは、もう何も検討する必要はないと思います。町会の中でもいろいろな仕事、行事をやっていて、だいたい役員、部長、それから区長さんというのが

長尾全体を25ブロックに分けていて、25ブロックのそれぞれのブロック長を呼んで、トータル45人ぐらいになるんですが、毎月いろんな話をします。業務連絡するのですが、毎回必ずアンケートを取っています。その時に80、90%という人が多いんですが、たまに5%、10%が5段階で1とか2っていう人がいます。この結果についても病院と町会運営とは根本的に違うとは思いますが、70、80%だったらもう何もやらなくていいと思っています。残りの5%、1%の中にとんでもないことを言っている人がいる可能性がありますね。それが命取りになる場合があるので、そこを誰がどんなことを言っているのかというのを調査し、そちらに時間をかけたほうが私はいいと思います。それに対して手を打たないといけないのか、打つ必要はないのかを判断していただければいいと思います。本当の一握りの部分が何を言っているかというのは、時間をかけて調査をしたほうがいいのかという気がします。

それから毎月そのようなアンケートを取って、その中でも多摩病院に対する意見とかを時あるごとに聞いているのですが、今回、事前に20人ぐらいに聞いてまいりました。4つばかりあったのですが、1つはやっぱり待ち時間なんですね。中には4時間待たされたという人も1人いました。普通は1時間、それから2時間という人は何人かいましたね。せめて1時間の待ち時間で済まないかというふうな意見を言われました。これはその時の順番や順番通りにいかないこともあるし、緊急の手術が入ったりということもあるんでしょうけれども、例えば2時間待たせるということがあらかじめ分かっているのであれば、連絡をしていただければ、その間に食事に行くとか、何か仕事をするとか、買い物するとかできると思いますが、そういう対策って取られているんですか。長時間待たせる人に対して。

(長島病院長)

待っている時間も満足感が得られる環境が必要と考えています。ディズニーランドなど、待ち時間が長くても満足度が高い施設があり、病院の中で時間を有効に潰せるような設備を考える必要があると考えています。

(井田委員)

そうですね。

(長島病院長)

図書室などの院内設備があると、多少は待ち時間に対する評価も緩和されると考えています。ライフマークコンシェルジュを導入しており、診察が近づくと個人のスマートフォンに連絡が入るシステムとなっています。

登戸駅周辺の再開発が進んでいるが、こうした施設でショッピングをしたり時間を潰しているときに、あと15分とか20分位で診察になりますという連絡がスマートフォンに入るシステムが、ライフマークコンシェルジュです。登戸駅周辺の再開発が進み、様々な施設で時間を使えるようになると、ライフマークコンシェルジュの効果が出てくると考えています。

(井田委員)

わかりました。何か考えられていることはあるわけですね。

もう一つは、私、実は大変健康で、多摩病院さんにかかったことがなく、あまり来ていないのですが、今回、何か要望などを、20人ばかりに聞いた話しかできないのですが、待合室とか、診察室には具合の悪い人が来てるわけで、咳をしている人もいるし、そういうウイルスあたりが広まらないように、空気清浄機というものは置かれているのかという質問がありました。これはどうでしょうか。

(島田主幹)

空気清浄機自体は置いませんが、熱のある方などは別の場所で待機していただいておりますが、今はコロナ等が流行っていないので、体調が悪い方はマスクの着用をおねがいでいます。

(井田委員)

体の弱っている人がいないといけないところに、例えば空気清浄機みたいなものは置いてほしいという意見はありました。別室に空気清浄機は置いてますか。

(島田主幹)

全部ではないですが、小児科の前に1箇所、待ち合いがあります。そこには空気清浄機を置いています。

(井田委員)

そうですか。意見として聞いていただければ、また必要であれば増設していただくことも考えてください。

あとは食事の時に、あるお年寄りの方が朝から具合が悪くて食べたくないというにもかかわらず、看護師さんが無理やり食べさせていた。その入院患者の奥様がもうあげなくていいというぐらいに。食べたくないと言っているのに無理やり食べさせていたと、それでは入院患者がかわいそうだと。私も現場を見たわけではないが、どんな食べさせ方をしていたのかわからないけれども、もうやめてくれと本人が嫌がっているというようなことで、ずっと胸が痛かったという話が1件ありました。

あとは、大した話じゃないですが、出口のところに右折禁止の標識がありますね。あれは警察で設置したのか、多摩病院さんで設置したのか、どちらでしょうか。

(島田主幹)

警察ではなくて、病院局と多摩病院で、当時、開院した時に設置したと思います。

(井田委員)

道路交通法上で設置したわけではないのですね。

(島田主幹)

はい。

(井田委員)

嫌な言い方ですけど、右折しても違反にはならないのですよね。

(島田主幹)

違反にならないと聞いています。

(井田委員)

道路が空いてる時で、右に曲がるとすごく楽だと思えることがたまにありました。わかりました。以上です。

(荒川担当課長)

ありがとうございました。

(臼田委員)

プライバシーの保護のところが低い点数になっていますが、これは何か改善策とか、何か問題になっている部分があるのでしょうか。

(島田主幹)

現在は、外来の壁、診察室の声が聞こえてしまうので、機能評価でも、そのところは気をつけなければいけないと、毎回話は上がっています。

(長島病院長)

外来でのプライバシー保護より、入院でのプライバシー保護が課題と考えている。

(島田主幹)

入院されている患者さんへの病状説明などは、個室ではない方に関しては、極力面談室で説明するよう配慮していますが、どうしても動けない方は、ベッド上で行うこともあります。

(臼田委員)

お名前と呼ぶとか、番号で呼ぶとかいろいろあるじゃないですか。そのようなことは改善策の中にあるのでしょうか。外来とか特に。

(島田主幹)

外来は基本番号でお呼びします。

(臼田委員)

そういったことではない。

(長島病院長)

外来における番号での呼び出しは、目の見えない方が受診されることもあり、難しいと考えています。入院に関しては、薬剤師の説明や医師の回診時の診察など、抗がん剤の説明などを含め、ベッドサイドで行うことがあります。大部屋であり、患者の移動も難しいなど、やむを得ない事情はあるが、できるだけ配慮するよう職員教育が必要と考えています。

(臼田委員)

患者満足度関係ではないことでもよろしいでしょうか。先日、システム交換があったと思いますが、その際に地域の方に連絡はしてくださったのかどうか、私たちの患者さんで、緊急コールがあって伺った際、もともと多摩病院のかかりつけで、何かあったら多摩病院っていうシステムになっていたのですが、先日のシステム交換がわからなかったもので、緊急対応をしていただいた看護師さん、救急の方ですかね。カルテも開けないし、何もわからないですっていう状況で、結果的に聖マリアンナ医大病院の方で受けていただいて、入院になったという経過がありました。私たちもそれを知らなかったで、何が起きているのか、受けられない理由がわからなく、後々、システム交換を行っていたことが分かりました。救急隊には連絡があったようですが、地域の方にも何かしら往診の先生や包括サイドなどに連絡をいただけていたら、私たちも構えが違ったかなと思っています。その後、大規模なシステム交換だったということを伺いました。そのような時には、事前にご連絡いただけると助かったかなと思います。

(長島病院長)

連絡はどこまでしましたか。

(島田主幹)

川崎市の病院協会から病院関係、消防局から救急隊には連絡していただいています。

(長島病院長)

医師会は。

(島田主幹)

医師会は、休診の期間だったので、連絡していなかったで申し訳ありません。

(臼田委員)

ホームページに掲載はありましたか？どこかに掲載されていたのでしょうか。

(島田主幹)

すみません掲載していません。

(臼田委員)

地域の方としては、24時間対応しており、往診の先生たちもそうなので、もし掲載されてい

ると対応が変わったかなと思います。私たちも緊急で多摩病院に連絡しないで、直で聖マリアンナさんにということであれば、対応は変わったかなと思います。一応、ご利用様が、なんで多摩病院に行けないのと私たちに言われても分からない状況でしたので、事前にご連絡いただけるとよかったと思います。

あと、緩和ケアについて、先日、病棟の見学会を実施していただいて、参加者、包括サイドやケアマネさんから、高評価で、私たちもただ単に緩和ケアを進めるだけではなくて、システムも理解した上で進められるのは、ありがたいなと思いました。

(荒川担当課長)

患者満足度調査につきまして、他に何かご意見・ご感想等はございますでしょうか。

(岸委員)

ここで言うことではないと思いますが、皮膚科は、現在、外来の人数制限をしていますよね。多摩病院は地域医療支援病院なので、紹介した患者は診てほしい。地域医療支援病院なので、依頼が来た患者は、枠外で取っていただけるとありがたいです。

(長島病院長)

現状では常勤の皮膚科医は欠員となっています。大学から曜日と診察時間を限定して皮膚科医が手伝いに来ているが、診察制限をせざるを得ない状況となっています。聖マリアンナの教室からではなく、別の大学から医師を派遣してもらうなど、学長とも相談しながら進める必要があると考えています。

(岸委員)

そうしていただけるとありがたいです。

(荒川担当課長)

ありがとうございます。ではよろしいでしょうか。次の議題に移らせていただきます。(2) 令和7年度の取り組みでございます。説明をよろしくお願いたします。

(島田主幹)

よろしくお願いたします。令和7年度の取り組みになります。4月に入職式を行いました。新入職者31名となります。後期研修医8名、基幹型初期臨床研修医12名、内訳は医科10名、歯科2名となっております。その他看護師、コメディカル、事務職で11名。看護師につきましては、その前年度に東横病院を閉院した関係で、多くの看護師さん、多摩病院に来ていただいているので、採用が1名となっております。5月になりまして、5月は医療相談センターが手狭だったということもありまして、分室を設置しております。8日にシャボン玉おやじという方がいらしてイベントをさわやかガーデン、ちびっこガーデンで行いました。5月12日に春の看護イベントを実施しております。6月4日ですが、第55回の川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催いたしました。6月11日に心理的安全性の職員研修、28日に第1回多摩病院塾を実施しております。7月はなく8月は、8月5日に第1回の川崎市立病院運営委員会と、

30日に第2回多摩病院塾を開催いたしました。9月ですが、第56回川崎市立多摩病院地域医療支援病院の運営委員会を開催しております。10月ですが、10月4日、多摩病院の災害訓練を実施しました。18日は第48回多摩区民祭に参加しております。21日に秋の看護イベント、10月27日から31日の間で患者満足度等調査、職員満足度調査を実施しております。11月は19日に第2回川崎市立病院運営委員会、22日に第3回多摩病院塾を開催いたしました。12月は、第57回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会を開催いたしました。7日の日に川崎市北部の病院連携訓練に参加いたしました。18日ですが、カリタス学園の学生さんたちがステンドグラスを作成いただいて設置してくださっています。外来の待合とか病棟のダイニング等に掲示していただいているので、もしお時間あったら見に行ってくださいと思います。12月22日にクリスマスコンサートを開催しております。23日の心理的安全性、1月の間違いですので、削除させていただきたいと思います。1月23日に心理的安全性の研修、30日に院内機能評価を実施しております。2月11日にある心理的安全性の研修についても、こちらも間違いで削除いただければと思います。2月25日ですが、川崎市立多摩病院地域連携の会を開催しております。3月ですが、第58回川崎市立多摩病院地域医療支援病院運営委員会と、本日ですね、令和7年度川崎市立多摩病院モニター懇談会、あと17日の日に第3回の川崎市立病院運営委員会を開催する予定となっております。7年度の取り組みについては以上になります。

(荒川担当課長)

ご説明ありがとうございました。多摩病院から補足等ございますか。

(長島病院長)

この資料は川崎市のホームページから閲覧できる資料になりますか。

(荒川担当課長)

なります。

(長島病院長)

それでは、誤記載の修正はしっかりとかけて。ぜひ2月1日に20周年の記載をしていただければと思います。

(荒川担当課長)

では、令和7年度の取り組みについて、ご意見やご感想など、何かございましたら、お願いいたします。

(岸委員)

病院塾というのは、対象は誰ですか。

(島田主幹)

対象は職員で、医師、看護師、コメディカル、事務を対象にしています。

(長島病院長)

そもそものコンセプトは事務職員対象の研修だが、事務職員に病院経営について考えてもらう上で、医療についての知識が必ず必要となるため、看護師と医師にも研修会に参加してもらい、多職種で議論できる形にしています。

(臼田委員)

多摩ネットでお話が出たのですが、例えば地域の方、防災の件、個々にやってもなかなかつながりが持てないというところがあって。災害の防災訓練とか、例えば、多摩病院さんは院内でやってると思うんですけど、例えば地域の人たちも入れてやってみるなど、そういったものが企画できないかとお話をあげさせてもらってると思うので、地域で取り組めたらいいなと思うので、またそちらのほうでお話あるかもしれません。

(長島病院長)

多摩ネットだと看護部長じゃなくて事務ですか。

(堤副院長)

多摩ネットのほうで、そのようなご意見をいただいたのは伺っています。

(臼田委員)

病院の中では難しいかもしれませんが、外側で地域の人たちはどういう風にくるとか、何かできたらいいなと思いました。

(長島病院長)

個人的には、市民の方、健康な方にも積極的に病院の中に入ってきていただき、健康な人の目で医療者の日々の働き方を見てもらいたいと思っている。災害訓練に際しても、対策本部に市民の方に入ってきて、トリアージを手伝っていただくなど、積極的に参加していただけるよう、検討していきたい。

(堤副院長)

ご意見で、トリアージを見学させていただいたり、対策本部でどのように物事が進んでいるのかっていうところを見学なのか、一緒に参画したい、参加したいってご意見は賜っています。

(長島病院長)

対策本部長なんかは井田委員にやっていただけたら、すごくいいかもしれません。

(井田委員)

参考になるかどうかわかりませんが、我々、避難所開設訓練っていうのを毎年やっています。その時に、避難所運営会議というのがありまして、その人たちだけで準備すればいいっていうものではないわけです。やはり、住民の方にやってもらわないといけないですね。例えば避難誘導

班とか衛生班とか、いろいろ係りがあるというか、それは来ていただいた人だけでやるようにしています。その中から班別に10人ぐらいずつまとめます。その中でリーダーを作って、そのリーダーさんには、倉庫の中にいろいろな持ち出し部品がありますから、それを取りに行ってください。そこを開けるとマニュアルが入っています。そのマニュアルは読めばわかるぐらい簡単に分かりやすく書いてあります。その10人の中の1人がそれを出してきて、みんなに読んで10人ぐらいの人に話して、自分たちで動いてくださいというのを各班それぞれ別々にやっている。毎年実施して、以前その班長になった人は、次回は違う班を担当してくださいというようなやり方で、毎年10人ずついろんな人にやってもらうというやり方をしています。というのは、我々委員だけだと、自分たちだって来られない可能性が十分あるわけです。役所の人たちだってせいぜい3人ぐらいしか来られませんが、その人たちだって自分たちが災害に遭っている可能性もあるので、10人の方で自分たちで避難所を開設してもらわなければいけないんだというコンセプトで実施しています。ですから、こちらも多分、そういう組織があって、医院がいっぱいあるんでしょうけども、そういう人たちだって、そこにいるとは限らないわけですからね。やはり来てくれた人たちだけで立ち上げるような、できれば外でできることしかないかもしれませんけどね。そんなことを考えつつ、作られたほうがいいんじゃないかなと思います。

(岸委員)

今年は区の防災訓練は選挙があって中止になりました。

(井田委員)

そうですね。

(岸委員)

区の衛生課とかが中心にやる防災訓練を実施しています。

(井田委員)

1月31日に稲田小でやったやつは

(岸委員)

それは違います。

(井田委員)

あれは違うのでしょうか。

(岸委員)

2月に予定していたのが、選挙で中止になって来年となりました。その防災訓練も看護は入って、介護は入ってないです。

(井田委員)

介護入ってないです。避難訓練やった時に、要介護者をどうやって連れてくるかっていうのは、今までやってなかったです。去年初めてやったものです。私、車椅子に乗って、そのような訓練は1回だけ初めてやりました。その時に看護師さんに来ていただいて、いろいろ問診を受けました。こんなことを行ってくれるのだと、助かりました。

(岸委員)

来年またあると思います。ある程度設定して、何月何日にマグネチュードいくつが起きて、今日は発災3日目だとか、その年によって違う、今日は発災当日だとか3日目だとかってということで、区は市にあげてっていう、その辺の訓練も含めて全部、あと医師会と、薬剤師会と、歯科医師会も入ってやる訓練は、毎年実施していたのですが、今年は流れました

(岸委員)

川崎市は7区あり、持ち回りで実施している。一昨年、多摩区でやりましたね。

(井田委員)

多摩高校ですかね。

(岸委員)

それはそれで市が実施しているやつで、それも大規模に実施するものがあり、区は区で実施してます。

(長島病院長)

来年本番にならないことを願っています。

(岸委員)

いかにここに軽傷者を来させないかっていうのが問題なんです。ここはトリアージがもう赤とあっていう、黒はもちろんなんですけど、緑とか黄色は全部来ないようにさせないといけないっていうのを周知徹底しないと、恐らく回らなくなる。

(荒川担当課長)

他に何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、本日の説明と御意見の聴取につきましては、終了とさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見ありがとうございました。最後に、多摩病院側から何かございますでしょうか。

それでは以上をもちまして、令和七年度川崎市立多摩病院モニター懇談会を終了とさせていただきます。

冒頭でもご説明しました通り、皆様の任期は、今月末、令和8年3月31日までとなっております。どうもありがとうございました。来年度のモニター懇談会の開催にあたりましては、改め

て各団体に委員の推薦をお願いしまして、また一般の委員公募も行う予定としております。

本日、委員の皆様からいただいたご意見につきましては、多摩病院のサービス向上に、つなげられるように取り組んでまいりたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。